

等々力球場完成記念式典

1967年に誕生して以来、長年市民に親しまれてきた等々力球場がリニューアルオープン。10月に完成記念式典が開かれました。

両翼100メートル、センター122メートルと神奈川県内最大規模に生まれ変わり、ベンチやブルペンなども新しく整備され、一般利用はもちろん、高校野球などの大会も円滑に開催できるようになりました。

緊急時はブルペンへの緊急車両の乗り入れが可能になるなど、災害時の活動拠点としての機能が備わったほか、等々力老人いこいの家も球場内に移転し、市民活動の拠点としても利用可能になりました。

完成記念式典では、福田紀彦（ふくだ・のりひこ）川崎市長をはじめ川崎市のスポーツ関係者が集まり、喜びを分かち合いました。

（福田市長）

「本当に皆さん、長きに渡ってですね、地元町内会の皆さんでありますとか関係者の皆さんに大変なご理解をいただいて、本当にすばらしい球場ができたなと思っています。」

式典の最後にはテープカットが行われ、参加者から拍手が贈られました。